

東日

涼み処「涼みん」無料開放

熱中症予防やCO2削減 蒲郡市内公共施設25カ所

夏の暑さが厳しさを増す中、複数のエアコン使用をやめて涼しさを分け合う「クールシェア」が公共施設などで広がりをみせている。蒲郡市は、市役所や公民館など市内の公共施設25カ所を涼み処(ごころ)「涼(すず)みん」として無料開放を始めた。冷房の効いた場所ですと休みしてもらい、熱中症予防や二酸化炭素(CO2)の削減に役立てる。

「涼みん」は方言で「涼んでいきなさい」というような意味。冷房が効いて1時間程度の休憩

「涼みん」は方言で「涼んでいきなさい」というような意味。冷房が効いて1時間程度の休憩



涼みん (JR蒲郡駅構内のナビテラスで)



多摩美術大運営のシェアマップでも確認できる

とす人もいる。市内では昨年67人が救急搬送された。公助で暑さへの取り組みをしっかりとしたい」と話す。今後は民間施設にも展開したい考えだという。

涼みんはポスターのほり旗が目印。省エネや環境問題を学べるように読みも

の位置いた。登録施設は市ホームページからアクセスできるシェアマップでも確認できる。開放期間は各施設が開館している日中で、9月末まで。(多田羅有美)

中日



SUPや釣りなど 蒲郡で海遊び体験 地元の子どもら

蒲郡市内の子どもたちが海遊びを体験するプログラム「海・みなど・蒲郡オーシャンキッズ」が四日、同市西浦町の西浦パームビーチであり、形原小学校の六年生六十七人が水上レジャーのスタンドアップパドルボード(SUP)や釣りなどを体験した。写真。

地元の海への愛着を育む日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で、町内でSUP体験施設「ラパリス」を運営する山村佳史さん(四)が講師を務めた。日差しが照り付ける中、児童らはバランスを取りながらボードに乗り泳いだり。佐々木和伸君(二)は「結構ゆらゆらしたけど楽しかった」と笑顔で話した。児童らは樹脂や塗料で「波アート」やパーベキューも楽しんだ。同様の体験プログラムには六・七月、形原小を含む市内九つの小中学校が参加する。

東海地方梅雨明け

昨年よりも3日早く 東三河地方暑さ再び 蒲郡・新城で34度台に



夏空に映えるヒマワリ (豊川市三蔵子町で)

名古屋地方気象台は20日、東海地方が梅雨明けしたとみられると発表した。平年と比べると1日遅く、昨年より3日早い。

東三河地方ではこの日、3地点で最も暑い時期を上回り、蒲郡、新城各市では最高気温34度台と猛暑日に迫る暑さとなった。

豊川市三蔵子町の畑では、強い日差しを浴びたヒマワリの黄色い花が真っ青な空に映え、夏本番を告げていた。辺りでは児童たちが、夏休みへの期待に胸を膨らませていた。

気象台によると、東海地方は向こう1週間も高気圧に覆われ、晴れる日が多い見込み。

東愛知

蒲郡自校で原付安全運転講習

スキルアップへ座学や実習

蒲郡信金の新入職員20人が参加し、蒲郡市鹿島町の「蒲郡自動車学校」で、原付バイクの安全運転講習を開いた。新入職員20人(男性12人、女性8人)が参加した。

バイクの特性や安全に関する知識を得る座学の後、運行前点検や車両の取り扱いの注意点を学んだ。その後、各人のレベルに合わせて班分けし、自動車学校

のコースに出て実習し、バイクで外回りするに

あたり、安全に走行できるような基礎から学ぶ。涉外を担当する女性職員の増加に伴い、運転免許証を取得の際に1回乗っただけという職員も増えた。新入職員は指導員の



原付バイクの実習をする職員たち＝蒲郡自動車学校で(提供)

【竹下貴信】

東愛知

謎多き南極大陸を紹介

海・みなの・蒲郡実行委 生命の海科学館で特別展

「海・みなの・蒲郡実行委員会」は、蒲郡市生命の海科学館で特別展「南極大陸2023 氷の下のタイムカプセル」を開いている。11月5日まで。

海の現状を伝え未来へとつなげる日本財団の活動「海と日本プロジェクト」の一環。今回は、氷に覆われた南極大陸の謎と厚い氷を割って進む砕氷船「しらせ」の活躍を紹介し、現在の海や地



球環境について興味を深めてもらう。国立極地研究所や海上自衛隊横須賀地方総監部などの協力で実現した。展示は南極で採集された氷をはじめ、植物の化石や岩石、南極観測に係る装備品など約30点。また、顕微鏡を使って採取した砂の構造を見られるコーナーを設置したほか、土日祝日限定で氷に触れる体験会を開いている。

【林大朗】

中日

綱引き「練習成果出した」

蒲郡バドミントンクラブ 全国大会へ

蒲郡市内の小中学生のバドミントンクラブ「ドロップス」が二十日、千葉市で開かれる綱引きの全国大会「全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会」に出場する。

バドミントンの練習で綱引きを採り入れている同クラブは、五月に北名古屋市であった綱引きの県大会で準優勝し、全国大会の出場権を得た。選手八人で綱を引き、二人が交代要員として控える。



綱引きの全国大会に臨むドロップスのメンバー＝蒲郡市役所で

ウクライナ出身歌手が公演

平和願うコンサート

10月浦郡市でナターシャ・グジーさん

10月に浦郡市でコンサートを開催するウクライナ出身の歌手ナターシャ・グジーさん(43)は東京都では市役所に鈴木寿明市長を訪ね、公演に対する意気込みや平和への思いを語った。

ナターシャさんは「ドゥーラを手ですれば」を披露。ロシアによる軍事侵攻が長引き、民謡「パン」



バンドゥーラを演奏するナターシャさん(浦郡市役所で)

イナは悲惨。ただそればかりでなく、豊かな文化があることを知ってほしい」と

訴えた。「これから長期的な支援が必要になる。関心をもち続けてもらえれば」と期待を込めた。

鈴木市長は「ウクライナの文化を肌で感じるのが大事。国に平和が戻ることを願っている」と話した。

ナターシャさんは6歳だった1986年、

チェルノブイリ原子力発電所の事故に遭った。その後、避難先のキエフ市でバンドゥーラを知り、8歳から音楽学校で学んできた。民族音楽団のメンバーとして来日したのを機に、2000年から東京を拠点に演奏活動を繰り広げている。

ナターシャさんの使うバンドゥーラの弦は63本。貧しい村を巡る吟遊詩人「コプザリ」が奏でる楽器「コプザ」がもとになっているという。コプザリは盲目の人が多く、ナターシャさんは「日本の琵琶法師のような存在だった」と説明

した。公演は午後2時と同6時の2回。故郷の民謡やクラシック、ナターシャさんのオリジナル曲など十数曲を演奏する予定だ。

チケットは一般が2000円(当日は500円増し)、中学生以下は1000円(同)。

問い合わせは、浦郡市民会館(火曜休館) 電話0533(67)5151(多田羅有美)

東日

18日から竹島園地で「夜市イベント」開催。夜市イベント「竹島ガーデンピクニック」(タケビ)は18日から3日間、浦郡市竹島町の竹島園地で開かれる。飲食やワークショップなど約30店が出店する。入場無料。18、19両日は午後4時〜同9時。最終日の20日は正午〜午後6時。

東愛知



チラシを持ってPRする市職員＝浦郡市役所で

砕氷船「しらせ」を一般公開

海・みなど・浦郡実行委が来月

南極での役割など紹介

「海・みなど・浦郡実行委員会」は9月23、24の両日、浦郡ふ頭11号岸壁で海上自衛隊の砕氷船「しらせ」を一般公開する。海・みなど・浦郡実行委は、現在の海や地球環境について興味を深めてもらう特別展を11月5日まで開いている。

今回の「しらせ」の内部を公開し、南極での役割を紹介するとともに、船の知識や興味を深めてもらう。海上自衛隊横須賀地方総監部などの協力で実現した。一般公開は入場無料。時間は両日午前9時から午後4時まで。最終受け付けは午後3時。また、無料のシャトルバスを用意する。

実行委の事務局を務める企画政策課の小田将也さんは「普段、しらせの艦内は見ることができないので、実際に乗って船や海について考えてほしい」と話した。

詳細は市ホームページまたは土木港湾課(0533・66・1152)へ。【林大朗】

東日

浦郡市「フリー開催準備室」を新設

自動車競技「全日本ラリー選手権」の来季開催を目指す浦郡市は14日付で、企画部企画政策課に「ラリー開催準備室」を新設する機構改革を行った。

準備室には兼務の支援監、室長、担当職員計6人を配置す

る。官民による実行委員会の発足など、ラリー開催に向けて調整を図る。

東日

特殊詐欺に注意を

浦郡信金御津支店で呼びかけ

高齢者を狙う特殊詐欺被害を防ごうと、豊川市御津町の浦郡信金御津支店は年金支給日の15日、警察を協力してチ



チラシを渡して注意を呼びかける署員ら。豊川市・浦郡信金御津支店で(提供)

東日

砕氷艦「しらせ」一般公開

22日 蒲郡ふ頭に初めて寄港



「しらせ」の初寄港を知らせるポスター

海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」が22

日、蒲郡市の蒲郡ふ頭に初めて寄港する。23、24両日は艦内を一般公開する。南極から運んできた氷や石のかげらも展示する。日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で、海・みなど・蒲郡実行委員会が主催する。入場無料。

公開は同日とも午前9時〜午後4時。艦内を見学できるほか、会場の蒲郡ふ頭11号岸壁では自衛隊広報ブースを開設する。

しらせは、海上の厚い氷を砕いて進む性能を備えており、

昭和基地へ観測隊員や物資を運んでい

る。任務期間外の災害時には、被災地支援を行った実績もある。

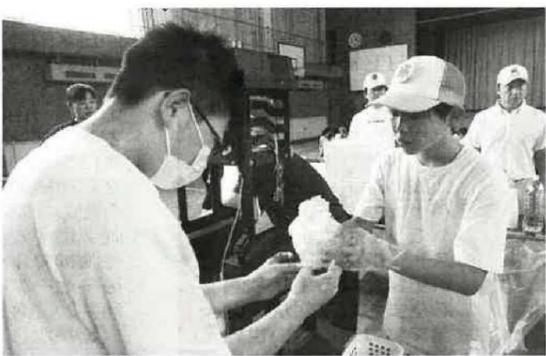
元呉地方総監で三河港振興会蒲郡地区委員会顧問の池太郎さんは「青少年に科学的思考を身に付ける機会を提供したい。港のにぎわいの創出にもつながれば」と話す。

当日は、蒲郡ふ頭11号岸壁の駐車場を午前8時30分に開門する。無料シャトルバスは竹島ふ頭から約10分間隔で運行する。

東愛知

「楽しい夏の思い出に」

蒲郡・丸金 かき氷プレゼント 豊川特別支援学校の生徒らへ



蒲郡市府相町の焼肉店「丸金」は4日、豊川市平尾町の県立豊川特別支援学校の高等部全生徒と職員計230人にかき氷をプレゼントした。

山田竜哲店長は、学校に通う生徒と保護者が同店を利用した際、親子か「みんなに食べさせてあげたい」と相談を受けた。日頃から社会貢献活

動に取り組む店は、親子の願いをかなえ、生徒に楽しい夏の思い出にしてほしいと企画した。

この日、山田店長と従業員5人は業務用の機械を使ってかき氷を作った。生徒はイチゴやメロンなどのシロップをかけて食べた。男子生徒は「みんなで食べてうれしかった」と話した。

山田店長は「生徒の笑顔が見られて良かった。これからも、人の役に立つ貢献活動を続けたい」と話した。【林大二郎】

中日

運転記録を事故抑止に活用

蒲郡市 あいおいニッセイ損保と協定

蒲郡市は、あいおいニッセイ同和損害保険(東京)が保有する自動車運転データを活用し、交通事故の抑止策に役立てる。1日に同社などと連携協定を結んだ。

同社は保険契約者の安全運転を支援するため、通信車載器を通して運転中の急ブレーキや急アクセルの有無などを記録するサービスを展開している。今回の連携協定では、市内を通行する車両から集めたデータを市に提供し、急減速する車が多い箇所の洗い出しに役立ててもらおう。

市役所での締結式で、同社三河支店(岡崎市)の石川達也支店長が「安全なまちづくりに貢献したい」とあいさつ。保険代理店の蒲伸商事(蒲郡市)の安藤敏博社長、鈴木寿明市長の3者で協定書に署名した。鈴木市長は「市内は細い抜け道が多い。危険箇所への注

意看板の設置など対策を進めたい」と述べた。(西山輝一)

中日

選挙人名簿登録者数

1794人減の610万6867人に 前回6月1日比

選挙人名簿登録者数(1日時点)を発表した。610万6867人で、前回登録時(6月1日)より1794人減った。

選挙人名簿登録者数は6月より増えたのは名古屋市中区、同市中村区、豊田市など8市10区3町村。6867人で、前回登録時(6月1日)より1794人減った。

豊橋市や一宮市など29市6区13町村で減った。

県選管は、6月1日時点の選挙人名簿登録者数を610万6867人に修正したが、4万7336人の誤りだったことが判明したと述べている。

選挙人名簿登録者数

2023年 9月1日現在

市区町村名	男	女	計	市区町村名	男	女	計
名古屋市計	928,715	962,420	1,891,135	津市	24,707	25,953	50,660
東区	32,204	35,889	68,093	西区	54,356	56,343	110,699
北区	65,837	69,955	135,792	南区	25,154	26,636	51,790
中区	61,343	62,506	123,849	東区	17,464	17,899	35,363
南区	39,942	38,500	78,442	西区	35,662	36,672	72,334
計	199,326	206,850	406,176	東区	30,093	30,240	60,333
千守名2	62,417	68,995	131,412	南区	13,493	13,134	26,627
種山東区	70,038	72,814	142,852	東区	14,879	15,278	30,157
計	194,219	210,110	404,329	西區	1,721	1,828	3,549
昭和三	41,550	44,598	86,148	東區	187,436	193,743	381,179
和区	98,326	102,361	200,687	宮市	152,184	162,190	314,374
白区	63,959	66,169	130,128	田市	19,016	19,275	38,291
計	203,835	213,128	416,963	上野市	171,200	181,465	352,665
瑞穂港南4	42,906	46,670	89,576	豊田1	175,764	160,408	336,172
穂田区	27,370	27,813	55,183	豊田2	24,843	23,747	48,590
区	57,860	56,884	114,744	豊田3	200,607	184,155	384,762
区	56,174	53,967	110,141	岡西12	157,039	153,137	310,176
計	184,310	185,334	369,644	岡西2	67,274	66,446	133,720
中中清5	57,752	56,627	114,379	計	224,313	219,583	443,896
村川須区	89,273	90,371	179,644	碧川安知高13	28,439	27,438	55,877
区	27,853	27,861	55,714	市市	64,649	58,669	123,318
計	174,878	174,859	349,737	市市	77,013	73,333	150,346
瀬戸日6	51,161	53,694	104,855	市市	29,786	26,588	56,374
井市	124,503	128,091	252,594	市市	19,396	17,769	37,165
区	175,664	181,785	357,449	計	219,283	203,797	423,080
大尾豊日長愛東7	37,371	36,049	73,420	豊浦新額	74,560	75,543	150,103
府旭市	33,396	35,458	68,854	市市	31,574	32,856	64,430
張明進手郷8	27,594	27,398	54,992	市市	18,320	18,598	36,918
久知多町	36,635	37,575	74,210	市市	16,768	16,433	33,201
手郷町	23,328	24,209	47,537	市市	16,768	16,433	33,201
東郷町	17,330	17,487	34,817	市市	3,492	3,750	7,242
区	17,330	17,487	34,817	市市	1,866	1,991	3,857
計	175,654	178,176	353,830	市市	1,199	1,316	2,515
半常東知阿東南美武8	48,042	47,682	95,724	市市	427	443	870
市市	23,237	24,180	47,417	市市	144,714	147,180	291,894
市市	48,100	44,267	92,367	市市	147,660	148,285	295,945
多郡	34,643	34,428	69,071	市市	25,135	23,814	48,949
多郡	64,612	65,797	130,409	市市	172,795	172,099	344,894
比町	11,015	11,460	22,475	市市	29,405	30,276	59,681
町	20,381	20,409	40,790	市市	40,037	42,144	82,181
町	6,774	7,135	13,909	市市	60,087	58,586	118,673
町	8,835	9,210	18,045	市市	34,908	35,198	70,106
町	17,607	17,583	35,190	市市	6,495	6,157	12,652
区	218,634	216,354	434,988	市市	6,495	6,157	12,652
				市市	24,029	24,059	48,088
				市市	9,774	9,544	19,318
				市市	14,255	14,515	28,770
				市市	194,961	196,420	391,381
				市市	3,041,829	3,065,038	6,106,867

朝日

新市長 3日

立川市(東京都) 酒井大史氏(55)無新、前都議会立憲民主団長が初当選。前自民都議無新、自推薦14氏破る。投票率37.15%。

松阪市(三重県) 竹上真人氏(61)無新が3選。元兵庫県議無新を破る。投票率32.27%で過去最低。

枚方市(大阪府) 伏見隆氏(55)大維新公認、現職が3選。元小学校教諭無新、共推薦を破る。投票率は31.17%で過去最低。

「東港地区」土地利用で意見交換

蒲郡ならではのやり方見つけたい

市職員とJV 計画案作成へ第1回会議



蒲郡市の蒲郡駅から竹島周辺までの「東港地区」について、土地利用計画案の作成に向けた第1回会議が5日、市役所で開かれた。会議は冒頭の概要説明以外は非公開。計画案づくりを受託したE-DESIGN（大阪市、忍那裕樹代表）など3社でつくる共同企業体（JV）「蒲郡東港パートナーズ」は、市の関係部局の職員らと意見を交わしたという。

出席した鈴木寿明市長は「蒲郡は海の東港地区のまちづくりについて話し合う1回目の会議（蒲郡市役所）」

街と言いつつ、海辺を歩く人はまばらだ。かつての賑わいを取り戻したい。議論を活発にして成功に導きたい」と期待を込めた。

忍那代表は、国の新制度「歩行者利便増進道路（通称ほこみち）」や、空き家を活用した拠点づくりなどを例に挙げ、「社会実験やワークショップなどを通じて、蒲郡ならではのやり方を見つけない」と抱負を述べた。

東港地区は、代表的な観光地である竹島周辺や、海岸一帯に広がる未利用の埋め立て地、蒲郡駅周辺の市街地の3エリアからなる。

JVはE-DESIGN、照明デザイン、LEM空間工房（大阪市）、日本海コンサルタント（金沢市）で構成。市は4月に計画案作成の委託業者を募り、公募型プロポーザルで選定した。

2026年3月末までに計画をまとめる。（多田羅有美）

東日

女性活躍推進セミナー

12月に新城市と蒲郡市で開催 講演や企業の取り組みを紹介

県は、人材確保と業績アップを目指す「中小企業のための女性活躍推進セミナー」を、12月に新城市と蒲郡市で開催。12月15日午後2時から、新城市商工会館で開く。NPO法人アールボード代表理事で働き方改革・組織開発コンサルタントの西尾果小里氏が「人材確保につながる働き方の変革」をテーマに基調講演を行う。企業の取り組み事例として、丸利建設（新城市）と介護老人保健施設「まんさくの里」（湖西市）を紹介し、パネル討論を行う。

蒲郡市では同22日午後2時から、蒲郡商工会議所で開く。基調講演では、西尾氏が「多様性を企業成長につなげる」を話し、ニデック（蒲郡市）とミスコンヤス（同）の取り組み事例を紹介する。

セミナーは、10月27日に津島市で、春日井市でも11月6日に開催する。オンラインでの配信もある。定員は会場とオンライン合わせて各会場50人。申し込みはQRコードから。

中日

西浦カッターボーイ

蒲郡市の少年軟式野球チーム「西浦カッターボーイ」が8月26、27両日に新城市で開かれた「がましん杯2023東三河大会」で初優勝し、蒲郡市役所で報告した。写真、市提供。尾崎来船主将（西浦小6年）は「結果に満足せず次の大会でも勝ちたい」と話した。



東三河各地区の予選リーグを勝ち抜いた12チームによるトーナメントで、西浦は決勝で二川ビューマーズ（豊橋市）に9-2で勝利した。

東愛知

女性の活躍を促進

中小企業向けセミナー 12月22日に蒲郡で

県は、蒲郡市の蒲郡商工会議所で「中小企業のための女性活躍推進セミナー」を12月22日に開く。「あいち女性の活躍促進プロジェクト」の一環。各市町村で講演会やセミナーを開いてきた。今回は蒲郡、新城、春日井、津島が会場に選ばれた。



チラシを持ってPRする蒲郡市職員 蒲郡市役所

セミナーは、働き方改革や組織活性化コンサルティングの西尾果小里氏の講演がある。また市内の先進企業として医療機器製造「ニデック」と、レンタルドレスサービス「ミスコンシャス」の関係者を招いたパネルディスカッションを開く。セミナー後は社会保険労務士の専門家に直接相談できるブースを開く。

また、新城市では市商工会館で12月15日に開かれる。蒲郡と同様に西尾氏の講演会などが予定されている。

対象は県内企業の経営者や人事担当者、女性活躍に関心がある人。専用フォームQRコードに氏名や勤務先などを記載して申し込む。

中日

南極観測船「しらせ」 蒲郡に初めて寄港へ

23、24日に一般公開



南極観測を支援する海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」が23、24両日、蒲郡市浜町の蒲郡ふ頭11号岸壁で一般公開される。時間は両日とも午前9時～午後4時（最終入場は同3時）。艦内では南極の水や石のかげらも展示する。

しらせは長さ138メートル、幅28メートル。毎年11月から翌年4月にかけて南極観測に従事し、厚い氷を砕きながら進む。今回は出発前の訓練として国内各地を巡る中、

蒲郡に初寄港する。このほか港町の市生命の海科学館では11月5日まで、南極で採取された岩石や化石を展示する特別展「南極大陸2023 氷の下のタイムカプセル」を開いている。火曜休館。

市土木港湾課 053-3(66)1152 (西山輝一)



【林大朗】

循環経済のまちづくり評価

県内では初 蒲郡市に栄誉 エコプロアワード優秀賞

蒲郡市は一般社団法人「サステナブル経営推進機構」主催の「第6回エコプロアワード」で、循環経済をまちづくりに組み込み、積極的に推進する都市「サーキュラーシティ」の取り組みが評価され、優秀賞に選ばれた。県内では初。【林大二朗】



主催団体からの受賞についての通知書類を持つ推進室メンバー＝蒲郡市役所で

s(持続可能な開発目標)の推進、実証実験などに取り組んでいる。今回は全国の自治体や事業者から計43件の応募があった。蒲郡は、これまでの活動をまとめて紹介した「市民が共創したサーキュラーシティの形成」というエントリーで選ばれた。鈴木寿明市長は「これからも、市民や市内事業者とともにサーキュラーエコノミーを推進していきたい」と話した。表彰式は12月。

東愛知 吉田さんら6人 県スポーツ顕彰

20日に楯や記念品を贈呈

県は規定に基づき、世界選手権などで活躍した6人に県スポーツ顕彰(スポーツ功労賞)を授与することを決めた。授与式は20日に県庁

2016年度まで環境負荷の低減に配慮した製品やサービスなどを表彰してきた「エコプロアワード」の理念や実績を継承しながら、さまざまな社会経済の変化を視野に、18年度に刷新した表彰制度。選考委員会と審査委員会が審査して「大臣賞」「優秀賞」「奨励賞」を決める。市は21年から、サーキュラーシティを目指すことを表明。推進室を立ち上げ、「メルカリ」や市内外の事業者と協力してSDG

中日



表彰状を受ける小田君＝蒲郡市役所で

少年硬式野球でV 蒲郡市長表彰

三重県四日市市で4～5月にあった少年硬式野球の「読売杯日本少年野球中日本大会」で三河一宮ボーイズ(豊川市)が優勝し、蒲郡市は投打で活躍した同市三谷小6年の小田敏太郎(1)を市長表彰した。中部各地区の予選を勝ち抜いた13チームが出場し、トーナメント戦で競った。捕手の小田君は準決勝で3打席連続安打を打ち、決勝の小坂井・岡崎中央合同ボーイズ戦では投手としても活躍した。14日に市役所で鈴木寿明市長から表彰状を受け取った小田君は「打てると思って打席に立った」と試合中の心境を回想。小学3年から地元の軟式野球チームに入り、豊川市内のバッテリーセンターで練習していた4年の頃に現チームの監督からスカウトされたという逸材は「将来は甲子園に出たい」と目標を語った。(西山輝一)

東愛知

水族館見学や多彩な体験

来月14、15日におさかな学校

海・みなど、蒲郡実行委が第3期「おさかな学校」第3期生の参加者を募集している。25日まで。【林大二朗】

海の現状を伝え未来へつなげる日本財団の活動「海と日本プロジェクト」の一環。海の大切さを学ぶ場として各種イベントに取り組んでいる。おさかな学校は深海藻をはじめ、市内で多く水揚げされる蒲郡の魚や、漁業を知ってもらうイベント。2021年から始まり、これまでに漁業体験やアサリ漁の見学など

応募は専用フォームQRコードか、実行委員の事務局を務める市企画政策課窓口にあるチラシ



チラシを持ってPRする市職員＝蒲郡市役所で

から申し込む。問い合わせは企画政策課(05333・66・1162)へ。



中日

玉鷲 1544回連続出場 単独2位

玉鷲が初土俵から通算1544回連続出場とし、史上単独2位に躍り出た。1位は元関脇青葉城の1630回。このまま無休を続けられれば、来年秋場所まで記録を更新する。節目の一番は、大関貴景勝と頭で当たる五分の立ち合いから突っ張りて応戦。最後は下からの攻めに押し出され、「持って行こうとして逆に持って行かれた。もっと力を付けなくちゃ」と反省した。関取で現役最年長の38歳になっても向上心は衰えないが、記録については「終わったら分かること」と淡々と話した。

東日

蒲郡市長選 告示まで2週間 任期満了に伴う蒲郡市長選(10月8日投開票)は、来月1日の告示が2週間後に迫った。再選を目指す現職の鈴木寿明さん(60)と、新人の壁谷喜八郎さん(70)が立候補の準備を進めており、前回と同じ顔ぶれの一騎打ちになる見込みだ。

中日

ホンダカーズ愛知南目立つベストを寄贈 蒲郡市交通安全推進協に 蒲郡市の自動車販売会社「ホンダカーズ愛知南」が創立75周年を記念し、反射材付きの交通安全ベスト200着を、市や地区住民でつくる交通安全都市推進協議会に贈った。登下校の見守りボランティアや交通安全キャンペーンで役立ててもらおう。13日に市役所で寄贈式があり、山本昌宏社長は「これから日が沈むのが早くなる。夜間でも目立つベストを活用してほしい」と話した。



山本社長からベストを受け取る鈴木寿明市長ら＝蒲郡市役所で

東日

南極への航海や艦内での生活など 南極観測船乗員が講話

23、24日 蒲郡市生命の海科学館で



砕氷艦「しらせ」(海上自衛隊提供)

海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」の初寄港に合わせて、乗員による講話会が23、24の両日、蒲郡市生命(いのち)の海科学館で開かれる。南極への航海や艦内での生活などについて語る。

23日は、しらせ航海長の小坂樹範さん、24日はしらせ副長の岩瀬剛さんが講師を務める。各日午前11時から午後2時からの2回講演。

入場無料。各回定員40人。主催者側が当日、会場で先着順に受け付ける。開始1時間前から会場前で整理券を配る。

しらせは南極観測船として知られる。海上の厚い氷を砕いて進む昭和基地まで観測隊員や物資を運んでいる。22日から蒲郡ふ頭に入港し、23、24日は一般に公開される。

東日

「海・みなど・蒲郡実行委員会」は25日まで、「がまごおりおさかな学校」の第3期生を募っている。魚料理教室や魚に関するワークショップなどを通じて、蒲郡市の海や魚について学ぶ2日間。

日程は10月14日から1泊2日。市内のホテル竹島に宿泊する。内容はメヒカリをかたどったストラップを作るワークショップ、竹島水族館の見学、魚料理

教室、竹島海岸の清掃や生き物の観察など。日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環。対象は市内の家族(1家族4人以内)。参加費は大人1人1万円、子ども1人(小学生)5000円。申し込みは25日まで、市ホームページで受け付けている。

問い合わせは、事務局(市企画政策課) 電話0533(66)1622まで。

1泊2日で海や魚学ぶ

「がまごおりおさかな学校」第3期生募集

東日

定時制・通信制高校紹介

来月8日豊橋市で合同説明会

進路選択に役立ててもらおうと、定時制高校や通信制高校の校風や特色などを紹介する今年度2回目の合同説明会は10月8日、豊橋市中野町の市保健所・保健センター(ほいっぴ)で開かれる。

定時制4校、通信制11校、全寮制1校を説明するほか、個別ブースで学校説明

や進路相談を行う。午後1時半から4時まで。

東三河の中学生や進路変更を検討中の高校生とその保護者、高卒資格を得たい人などが対象だ。

市は説明会を20



今年度1回目の合同説明会の様子(豊橋市提供)

12年度から年2回開催。今年7月の今年度1回目の説明会には過去最多の326人が参加したという。

参加校などは次の通り。

定時制 豊橋市立豊橋高校、愛知県立豊橋工科高校、同県立御津おおほ高校、静岡県立新居高校▽通信制 NHK学園高校(桜丘協力校)、高卒資格サポートセンター 豊橋キャンパス(鹿島学園高校)、精華学園高校豊橋校、第一学院高校豊橋キャンパス、ANNIE GLOBAL高等学院(日本航空吉高校)(鹿島朝日高校)、スターシャル学院豊橋教室(代々木高校)、豊川中央フリースクール(さくら国際高校)、ゆずりは学園(2019国際高校)(中央高校)、愛知産業大学三河高校、KTCおおぞら高等学院岡崎キャンパス・浜松キャンパス、クラーク記念国際高校浜松キャンパス▽全寮制 黄柳野高校▽相談・支援機関がまごおり若者サポートステーション、とよはし若者サポートステーション、こども若者総合相談支援センター コエール

砕氷船乗組員が南極語る

海・みなと・蒲郡実行委員会「しらせ」初寄港に合わせ 蒲郡実行委

「海・みなと・蒲郡実行委員会」は、蒲郡ふ頭11号岸壁に砕氷船「しらせ」が初寄港することに合わせ、23、24の両日、蒲郡市生命の海科学館1階メディアホールで乗組員による講演会を開く。

11号岸壁で船の一般公開も

海の現状を伝え未来へ「ト」の一環。実行委員会とつなげる日本財団の活動と科学館は南極大陸や現動「海と日本プロジェクト」の海、地球環境について



講演会をPRする実行委員会メンバー＝蒲郡市役所で

23、24日に講演会

【林大朗】

講演会は、航海長を務める小坂樹範さんと副長の岩瀬剛さんを招く。南極での砕氷船の役割や船内での生活などを詳しく伝え、船の知識や南極の

自然について興味を深めてもらう。
23日は小坂さんが、24日が岩瀬さんが講演する。時間はいずれも午前11時～正午と午後2時～3時。内容は同じ。入場無料。事前申し込み不要。問い合わせは市生命の海科学館(05333・66・1717)へ。

東愛知

蒲郡など三河の食や観光満喫

来月1日から体験イベント続々

「MIKAWA de 遊び100」開始



ポスターを持ってPRする観光協会の職員＝蒲郡市元町で

昨年より増の88プログラム

蒲郡市観光協会などでつくる「MIKAWA de 遊び100」実行委員会は、10月1日から三河地域の体験型プログラムをまとめた「MIKAWA de 遊び100」が始まる。来年3月31日まで。蒲郡をはじめ、三河地域の体験型イベントを

今年のは新型コロナウイルスの規制が緩和されたことで、昨年より増えた88のプログラムが構成されている。

豊橋市では繁華街の歴史や老舗をボランティアガイドが案内するツアーや魚市場の日常体験などを提案している。

参加は体験したいプログラムを選び、実行委員の事務局を務める蒲郡市観光協会に電話(0533・68・25026)か、ホームページ「QRコード」または冊子から申し込む。特典は観光協会に所属する旅館で使える日帰り温泉入浴半額優待券のプレゼントがある。デジタルスタンプに参加するとペア宿泊券などの景品がもらえる。担当者は「子どもから大人まで楽しめる体験プログラムになってます」と話した。

初日の1日は、海陽町の複合施設「フェスティバルマーケット」でオープ

東日

YouTubeビジネス活用術解説

来月17日蒲郡で人材育成セミナー

東三河広域経済連合会は10月17日午後1時半から、蒲郡市港町の蒲郡商工会議所で人材育成セミナー「事例で学習し実践で定着する YouTube

be(ユーチューブ)のビジネス活用術」を開く。動画を活用した販促の効果や、スマートフォンを利用した撮影、編集、投稿の仕方について分かりやすく解説する。講師は、イノンスパイア(新潟県)代表で長岡造形大学講師の横田秀珠さん。対象は経営者や管理職、中堅・若手社員。当日はスマートフォンを持参する。参加費は会員3000円、非会員は6000円。定員は25

人。蒲郡商議所で申込書を配布している。問い合わせは、事務局(蒲郡商議所)電話(0533)(68)7171へ。

東日

アルツハイマー月間に合わせ講演会

蒲郡市

今月の世界アルツハイマー月間に合わせて、蒲郡市は23日午後2時から、講演会「支える側の葛藤」を開催する。認知症の母が教えてくれたこと」を市民会館で開く。講師は、24年間関わった認知症の母を介護した詩人の藤川幸之助さん。参加無料。藤川さんは、認知症になった母の不安や病気に伴う葛藤、支える家族の心の葛藤などについて語る。詩の朗読を交えて、認知症への理解を呼びかける。申し込みは不要。定員は400人。

東日

児童買春の疑いで無職の39歳を逮捕

15歳少女を伴って蒲郡市

蒲郡署は19日、児童買春・ポルノ禁止法違反(児童買春)の疑いで、豊田市日南町の無職、坂本一朗(39)を逮捕した。

逮捕容疑は、今年3月26日に蒲郡市内のホテルで、少女(当時15歳)が18歳未満であることを知りながら、現金5万円を渡してみだらな行為に及んだとされる。

署によると容疑を認めている。署員が、少女から別件の相談に応じる中で行為が判明。2人はSNSを通じて知り合っていた。



ニングイベントを開く。無料で参加できるビンゴゲームなどを企画している。【林大朗】

東日

砕氷艦「しらせ」蒲郡に初寄港

あすまで 艦内を一般公開／ひと足先に児童が見学

海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」が22日、蒲郡市の蒲郡ふ頭
に初めて寄港した。23、24両日は艦内を一般公開する。

しらせは、海上の
厚い氷を砕いて進む
性能があり、南極に

ある昭和基地に観測
隊員や物資を運ぶ。
11月の出発を前に、
先月下旬から日本一
周の航海訓練を行っ
ている。母港の横須

賀基地(神奈川県
から十勝(北海道)、
浜田(島根県)、呉
(広島県)の各港に
寄り、この日、最終
訓練地の蒲郡に入港

した。
入港歓迎式典の
後、地元市立中央
小6年生40人らが艦
内を見学。南極から
運ばれてきた氷に触
ったり、操舵(そう
だ)室などを見て回
ったりした。

齊藤一城艦長は
「この機会にぜひ来
艦していただきたい
。しらせや南極に
興味を持つきっかけ
になれば」と期待を
込めた。

一般公開は両日と
も午前9時～午後4
時。
当日は、蒲郡ふ頭
11号岸壁の駐車場を
艦内を見学する中央
小児童ら(しらせ艦
内)



蒲郡に初寄港した砕氷艦「しらせ」(蒲郡市浜町で)



午前8時半に開門す
る。無料シャトルバ
スは竹島ふ頭から約
10分間隔で運行す
る。
(多田羅有美)

東愛知

砕氷艦「しらせ」初寄港

海・みなど 南極への興味を深めて 蒲郡実行委

蒲郡市浜町の蒲郡ふ頭
11号岸壁に22日、海上自
衛隊横須賀地方隊所属の
砕氷艦「しらせ」が初寄
港した。23、24日は一般
公開する。

喫水9・2メートル。文部科学
省は南極観測船と呼んで
いる。11月から来年4月
まで南極で活動する。

海の現状を伝え未来へ
とつなげる日本財団の活
動「海と日本プロジェクト」
に取り組み「海・み
など・蒲郡実行委員会」
が招いた。委員会と市生
命の海洋科学館は南極大陸
や地球環境についての特
別展を11月5日まで開い
ている。

砕氷艦の役割を紹介し、
知識や興味を深めてもら
うとした愛知県在住の男
性を海上保安庁の要請で
救助した。

この日、鈴木寿明市長
や市職員、市立中央小学
校6年生児童40人が、「し
らせ」の齊藤一城艦長と
乗員約180人を出迎え
た。その後、乗員は児童
らを艦内に案内した。齊
藤艦長は「蒲郡や近隣自
治体の皆さんが、南極や
しらせについて興味を深
めてほしい」と話した。

きょうあす
一般公開

一般公開は入場無料。
南極の氷などを展示す
る。西日も午前9時か
ら午後4時。最終受け付
けは午後3時。竹島ふ頭
を発着する無料シャトル
バスの利用を呼び掛け
る。

【林大朗】
初寄港したしらせ＝蒲郡
ふ頭11号岸壁で



中日

南極観測を支援する海上自衛
隊の砕氷艦「しらせ」が22日、
蒲郡市浜町の蒲郡ふ頭11号岸壁
に初めて寄港した。23、24日に
艦内を一般公開し、南極で採取
した氷を展示したり、船を操縦
する上階の部屋「艦橋」や甲板
を開放したりする。

しらせは長さ138メートル、幅28
メートル。氷の層に乗り上がり、砕き
ながら前進できる。約180人の
海上自衛官が乗船し、毎年11
月～翌年4月に南極の昭和基地
に観測隊員や物資を運ぶ任務を
担う。秋からの第65次観測を控
えた訓練として北海道や島根
県、広島県の各港を巡る中、蒲
郡港に寄った。

この日は寄港を招致した市な
どでついで実行委が歓迎式典を

南極観測船「しらせ」初寄港

蒲郡 きょうとあす 艦内を一般公開



蒲郡港に寄港した砕氷艦しらせ＝いずれも蒲郡市浜町で



船を操縦する艦橋
を見学する児童

開き、地元の中央小の児童らが
乗員に花束を手渡した。齊藤一
城艦長は「地域の方々に艦内を
見学してもらい、南極に行った
経験がある乗員との会話も通
じ、しらせや南極観測への理解
を深めてほしい」と呼びかけた。
(西山輝一)

式典後に一足早く見学した中央
小6年の鈴木詩葉さん(12)は
「乗員のみなさんの活動の様子
がわかって面白かった」と話した。
一般公開は両日とも午前9時
～午後4時(入場は同3時ま
で)。